

★言語理解とコミュニケーション研究会 (NLC)

専門委員長 吉田光男 副委員長 坂地泰紀・小早川 健
幹事 光田 航・石野亜耶 幹事補佐 高橋寛治・小川泰弘

日時 9月13日(火) 13:10~17:10

会場 慶大・矢上キャンパス(横浜市港北区日吉3-14-1, 日吉駅から徒歩15分, <https://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2022/access.html>)

議題 第19回テキストアナリティクス・シンポジウム

キーワード・著者推定(13:20~14:50)

1. 単語の分散表現と意味的なベクトル演算に基づく関連キーワード推定
○瀬川 修(中部電力)・村上一彦(中電CTI)
2. 周辺フレーズ情報の獲得に基づくキーワード抽出の検討 ○稲岡夢人(Faber Company)・吉田光男(筑波大)
3. 著者推定における事前学習済みBERTを用いたアンサンブル学習法の提案
○神田泰誠・柳 燐佳・金 明哲(同志社大)

重要文抽出(15:30~17:00)

4. 統合報告書からの企業特有の競争優位性を表した文の抽出
○菅原佑太・酒井浩之・永並健吾(成蹊大)・高野海斗・中川 慧(野村アセットマネジメント)
5. 汎用言語モデルと複数の特徴を組み合わせた攻撃的な文の検出 ○李 振銘・嶋田和孝(九工大)
6. 感情辞書を用いた物語のハイライト抽出 ○三木建哉・松本和幸・吉田 稔・北 研二(徳島大)

【問合先】

坂地泰紀(東大)・高橋寛治(Sansan)・吉田光男(筑波大)

E-mail: tm-tokyo@pluto.ai.kyutech.ac.jp